

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

白杵市長 西岡 隆

市町村名 (市町村コード)	白杵市 (44206)	
地域名 (地域内農業集落名)	佐志生地区 (目明上、目明下、藤尾・大久保、上桑原、明、浜、江口中障子、塔ノ崎、長浜、井場、久保、中道、脇)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月31日 (第2回)	

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・みかん畑は荒廃してしまった（高齢化に加え、自由化等の要因により）</li> <li>・家に近い農地を残している</li> <li>・貸し借りが成立しない（賃借料で折り合いがつかない）</li> <li>・柵が設置されていないところでは獣害が出ている</li> <li>・隣接市から耕作に来ている人はいる</li> </ul>
--

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営で稼ぐのか、荒廃農地を増やさないような維持管理をしていくのか、地域全員で方向性を検討する</li> <li>・有機栽培を広げてみたらどうか（新規就農者で志向する人が多い）</li> </ul>
--

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	30 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	30 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。
--

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地域外から、法人も含めた幅広い耕作者への農地集積を検討する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
耕作者の経営意向や、地権者の貸出意思を把握しながら、農地中間管理機構を活用した集約化を検討する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
耕作者、地権者の意向をふまえつつ、必要に応じて事業の活用について検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外の農業者が経営しやすい環境を整える。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①防護柵の設置に際してはほ場の状況をしっかり把握し、被害防止対策の構築に取り組む。